

特別陳列

二上山に

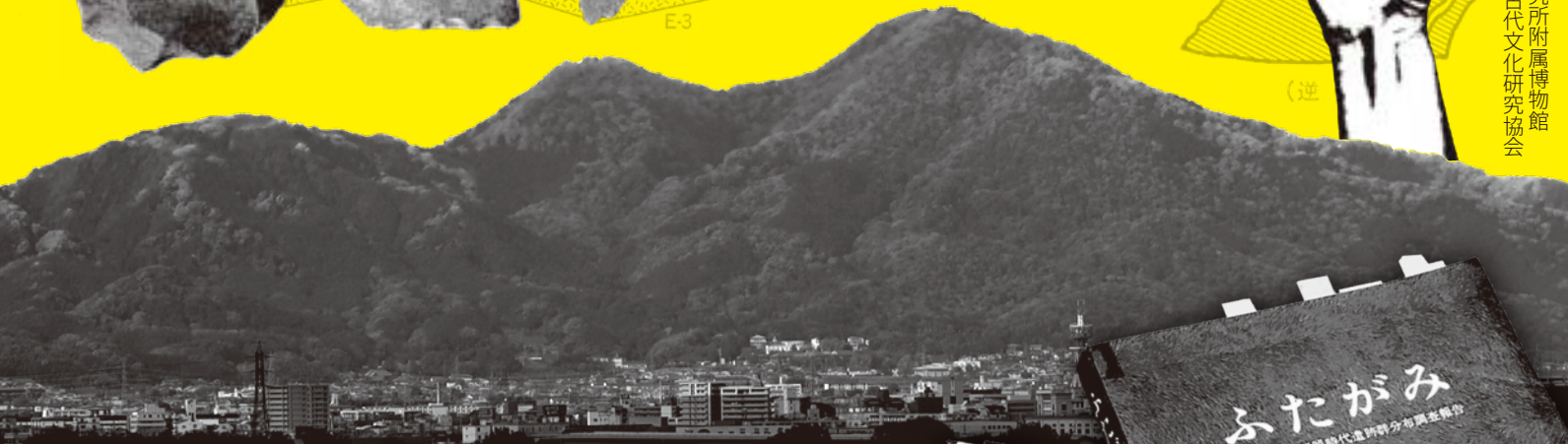
ははじまりを 求めて

知る、
探る、
考える

旧石器時代を



主催 奈良県立橿原考古学研究所附属博物館
後援 公益財団法人由良大和古代文化研究協会



2025年

2 / 1 土 3 / 16 日



奈良県立橿原考古学研究所附属博物館

The Museum, Archaeological Institute of Kashihara, Nara Prefecture

【写真】左上段：桜ヶ丘第1地点遺跡出土石器・左中段：鶴峰荘第1地点遺跡出土石器・左下段：峯ノ阪遺跡下層出土石器・右下：同志社大学旧石器文化研究会 1974 『ふたがみ—二上山北麓石器時代遺跡群分布調査報告—』学生社 〔図〕いずれも奈良県立橿原考古学研究所 1979 『奈良県史跡名勝天然記念物調査報告第38冊—二上山・桜ヶ丘遺跡—』

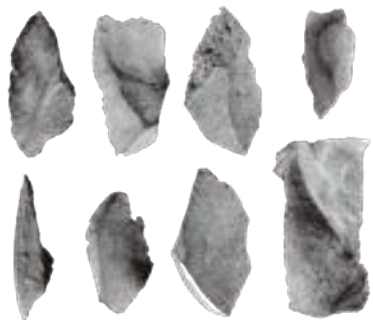
二上山じょうさんに

はじまりを

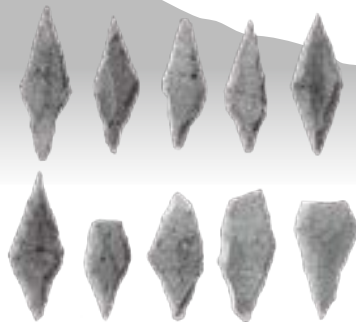
求めて

旧石器時代を

知る、探る、考える



桜ヶ丘第1地点遺跡出土石器



馬見二ノ谷遺跡出土石器

奈良県のランドマークとして親しまれている二上山。その北麓地域は、石器を作るのに重宝された石材「サヌカイト」の供給地であり、特に旧石器時代において盛んに石器作りがおこなわれた場所でした。五十年前、そんな二上山北麓の遺跡群に魅せられた若き研究者たちがサヌカイト原産地遺跡の解明に挑み、金字塔ともいえる報告書『ふたがみ』を編みました。『ふたがみ』は当時の旧石器時代研究における革新的な報告書であり、現在でもその価値を失っていません。

今回の特別陳列「二上山にはじまりを求めて」は、『ふたがみ』の刊行から五十年の節目を記念し、二上山における旧石器研究のあゆみを紹介するとともに、奈良県における人類の活動の「はじまり」について考えます。

主催 奈良県立橿原考古学研究所附属博物館
後援 公益財団法人由良大和古代文化研究協会

講演会

【日時】2025年2月16日(日) 13:30～(12:00 開場)
※13:00～13:30 は考古学写真甲子園表彰式(入場無料)
【会場】橿原考古学研究所 講堂 ※申込不要、無料
光石鳴巳(当研究所)
「奈良県の旧石器研究 50年」
小原俊行氏(奈良文化財研究所)
「東日本への瀬戸内技法の波及について」

列品解説

【日時】2025年2月15日(土) / 3月1日(土)
各日 10:30～(30分程度)
【会場】当博物館 特別展示室 ※申込不要、観覧券が必要

観覧料金

	一般	高校・大学生	小・中学生
個人	400円	300円	200円
20名以上の団体	350円	250円	150円

無料となる場合 ◆小学生未満 ◆65歳以上 ◆身体障がい者手帳・療育手帳・精神障がい保健福祉手帳の所持者および付き添い人 ◆県内の小・中・高・特別支援学校生が教員の引率で入館する場合の生徒・教員 ◆土曜日に入館する奈良県内の小・中・高・特別支援学校生 ※それぞれ証明するものをご提示下さい。

奈良県立橿原考古学研究所附属博物館

The Museum, Archaeological Institute of Kashihara, Nara Prefecture
◆〒634-0065 奈良県橿原市畝傍町50-2
◆TEL (0744)24-1185 ◆FAX (0744)24-1355
◆URL <http://www.kashikoken.jp/museum/>



博物館
サイト

主な展示資料

- ・桜ヶ丘第1地点遺跡・鶴峯荘第1地点遺跡・峯ノ阪遺跡出土石器(当博物館)
- ・法華寺南遺跡・平城京右京一条二坊四坪(530次)・平城京右京三条一坊八坪(448次)・平城宮東院地区(469・503・593次)出土石器(奈良文化財研究所)
- ・池田遺跡・岡崎遺跡 出土石器(大和高田市教育委員会)
- ・翠鳥園遺跡 出土石器(羽曳野市教育委員会)
- ・郡家今城遺跡 出土石器(高槻市)ほか

開館日時

2025年2月1日(土)～3月16日(日)
開館時間 ◆ 9:00～17:00(入館は16:30まで)
休館日 ◆ 月曜日(2月24日は開館)・2月25日



特別陳列 東南アジアの洞窟遺跡

開催中～2025年3月16日(日)

特別陳列と同じ観覧券でご覧いただけます

アクセス

- 近鉄橿原線《畝傍御陵前駅 Unebigoryomae sta. B41》下車…西出口から西へ 徒歩約5分
- 近鉄南大阪線《橿原神宮前駅 Kashiharajingu-mae sta. K42・B42》下車…中央出口から北へ 徒歩約15分
- 駐車場(約40台分)あり